

平成20年度第1回競技団体連絡会議

競技団体における  
アンチ・ドーピング推進について

財団法人日本アンチ・ドーピング機構  
競技団体連絡会議運営委員会

山澤文裕

2008.5.15

2008年3月8日  
日体協スポーツドクター代表者会議

参加した32競技団体に対する教育・啓発に関する調査

研修会 実施 競技者 14団体、指導者 11団体  
未実施 7団体  
情報配信 機関紙 10団体、ウェブサイト 12団体  
未実施 15団体  
検査結果公表 3団体

多くの団体が教育・啓発を行っていない

# 競技団体連絡会議設置の目的

- JADA講習会の改革 : 検体採取手順に特化
- DCOのリクルート : NFと希薄な関係
- 規程、国際基準の改訂 : 最新情報
- NADO、IF、NFの連携 : 複雑なプロセスの調整
- 検査手順の精度管理 : NF側からフィードバック

医事関係者による横断的な情報交換の場  
メディカルサイドからアンチ・ドーピング活動を  
進めていく

## 文科省ガイドライン 3(1)項

スポーツ団体は、国内ドーピング防止規則を遵守するとともに、JADAの活動に協力し、ドーピング防止活動の推進に努めるものとする。

# NFアンチ・ドーピング担当者の重要性

## NF事務局担当者

居場所情報提出サポート  
公式記録書保管  
TUE申請・付与確認  
ADAMS  
予算確保 など



ドーピング防止に関する  
競技団体事務局長等会議  
(2008. 3.26)

## NF医事担当者

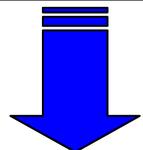
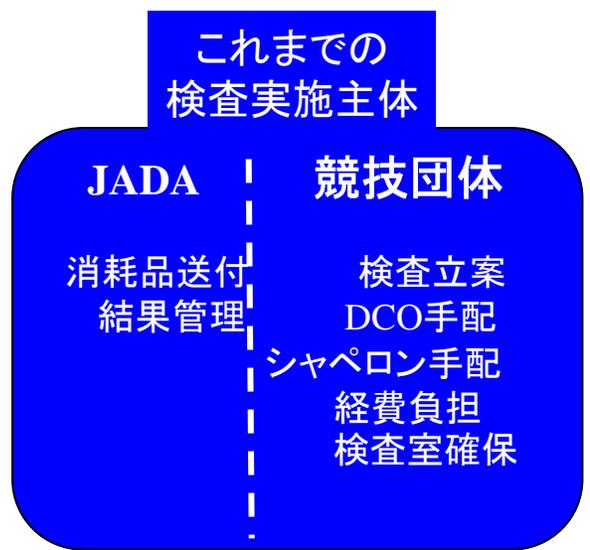
教育、普及、啓発  
予防  
TUE申請サポート  
検査計画原案作成  
検査立会い  
情報管理  
予算確保 など



競技団体連絡会議  
(2008. 5.15)

# NF企画、立案の検査

# 委託事業、TOTO対象



競技団体が  
主体となり  
検査を実施



競技団体は、検査計画原案作成、DCO推薦、検査室の確保、運営への協力、シャペロンおよび役員の依嘱 などを行う

# NF Representative

(委託事業、TOTO対象)

独立機関として  
検査を実施

JADA

消耗品送付 検査立案承認  
結果管理 DCO派遣  
経費負担

リードDCOが  
現場を指揮

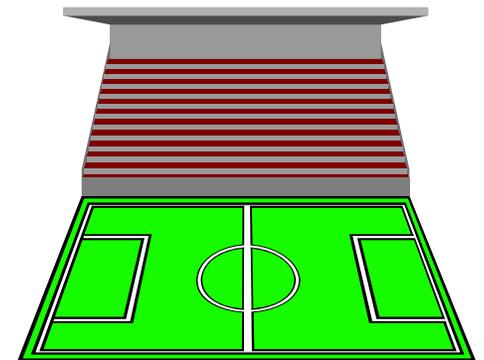


NF Representative

競技団体

DCO推薦  
検査室提供  
シャペロン  
競技役員

- ・競技団体の代表として  
検査立会い、検査が適正に  
実施されているかの監督
- ・競技会主催者とDCOとの  
仲介役
- ・必要に応じ、対象競技者  
選出の立会い
- ・競技団体代表として、  
検査室設営のサポート



# NF Representative

**立場: NF派遣 (NFが経費を負担する)**

**あり方: 選手の権利保護、検査の適正さの監督**

**業務: 円滑なドーピング検査実施のための業務**

**資格: 競技会検査にてDCO経験を有する者が望ましい**

**導入時期: 準備の整ったNFから開始していく**

**IFスーパーバイザー、IFデレゲイトをイメージする**

**JADA DCO認定証を身に付けない**

**検査そのものをしない**

**問題があった場合、リードDCOと協議する**

**DCOに対する指揮命令権を持たない**

# NF医事担当者の役割

## JADAと協力して:

- 規程、禁止表、TUE、陽性事例、検査法、国際的動向などの最新情報入手する。
- 年間検査計画原案を作成し、JADAへ提出する。
- ICTにおけるDCOをJADAに推薦する。
- NF、IFの特別な規則、事情をJADAに伝え、競技者に不利のないように努める。
- NFの陽性事例に対応する。

# NF医事担当者の役割

## NF内で:

- 規程をNFの規則に盛り込む。
- 事務局担当者とADAMSで検査結果、TUE付与状況などを確認する。
- 円滑なICTのため、競技会主催者と事前調整する。
- ICTのNF Representativeを指名する。
- DCO(リードDCO含む)を推薦する。
- 十分な教育・啓発事業ためNF内予算を獲得する。
- 他の医事担当者(NF委員、NF推薦スポーツドクター)に情報を伝達する。

# NF医事担当者の役割

競技者・競技者支援要員に対して:

- アンチ・ドーピング教育・啓発の実施
- 研修会・ウェブサイト、機関紙などでの情報提供
- 禁止表
- 居場所情報提出の重要性
- 違反した場合の制裁措置
- TUE申請の説明、TUE制度の普及
- TUE申請のサポート
- 薬物に関する問い合わせ、うっかりドーピングの予防
- 競技会検査にNF Representativeを派遣し、競技者の権利保護に努める

# ドーピング防止活動における JADAと競技団体の役割分担

- JADA

- 競技者、競技者支援要員 教育全般の活性化  
(居場所情報提出、競技会外検査に関するルール説明、ADAMS操作方法講習会、TUE申請ガイドライン配布、使用可能薬物問い合わせ等)
- DCO養成
- 検査実施(委託事業、TOTO中心、経費負担)
- 結果管理

- 競技団体

- 事務局アンチ・ドーピング担当者の選任
- 競技者の居場所情報、TUE申請提出に関するサポート
- 競技会検査の検査室提供、役員、シャペロンの委嘱
- 医事担当者の選任
- 競技者、競技者支援要員の教育・啓発
- NF Representativeの指名 など

# 今後の開催予定

年に3回程度

少なくとも1回は関西圏で開催

競技団体は競技団体連絡会議に

出席する**NF医事担当者を選任**する